

**【山梨県山梨市】  
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業  
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県（山梨市）が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 山梨県山梨市

### ●地域における現状・課題

・市内の公立中学校に通う生徒数は、現在801人で、毎年減少している。部活動数及び部員数も減少傾向にあり、団体種目で、単独校では試合に出場することが困難な部活動も発生している。

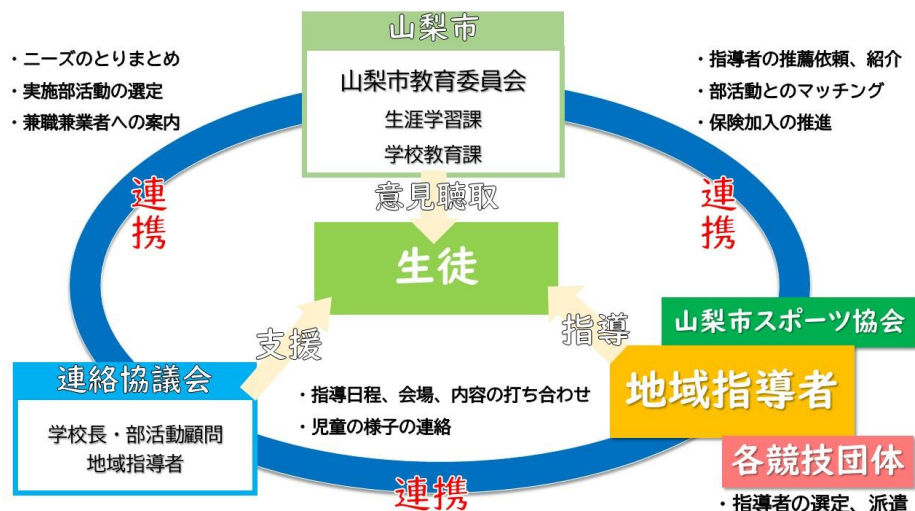
### ●取組事項の概要

- ・本年度より関係者との連絡調整・指導助言等を行う総括コーディネーターの配置。
- ・広域な課題を検討する協議会（市連絡協議会）の設置・運営。
- ・実践活動として市内1校をモデル校と位置付け試行的に実施。
- ・指導方法については、地域スポーツクラブ、地域指導者、教職員（兼職兼業）と型にはめることなく実践できる指導者に依頼。
- ・活動場所については、活動場所を限定せず、平日と同じ学校施設、社会体育施設の2パターンと、2校が連携し合同で練習を行う場合は指導者が協議して活動場所を選定。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・試行的に6競技8種目の部活動を地域指導者が指導。
- ・市内3中学校ある中でモデル校を定め実践することによって、地域連携を導入しやすかった。
- ・市スポーツ協会加盟団体と協議することによって、指導者を確保しやすかった。
- ・既に地域指導者の協力が得られている活動などに集中的に取り組む、モデルケースを示すことで先生方の共通認識に繋がった。

### ●運営体制図



～R5年5月	地域移行に係る共通理解、事務局について
R5年6月	部活動地域移行ブロック会議（市内中学校長・教員、地域指導者）
R5年7～9月	市内中学校長、部活動顧問、競技指導者との打ち合わせ・意見聴取
R5年10月	部活動地域移行先進地への視察（会津若松市）
R5年11月	部活動地域移行についての教員研修会
R5年12月	部活動地域移行に係る要綱の策定、部活動連絡協議会の設置（第1・2回会議）
R6年1月～	部活動連絡協議会（第3回会議） 外部指導者による休日部活動の指導開始

# 1. 自治体の基本情報

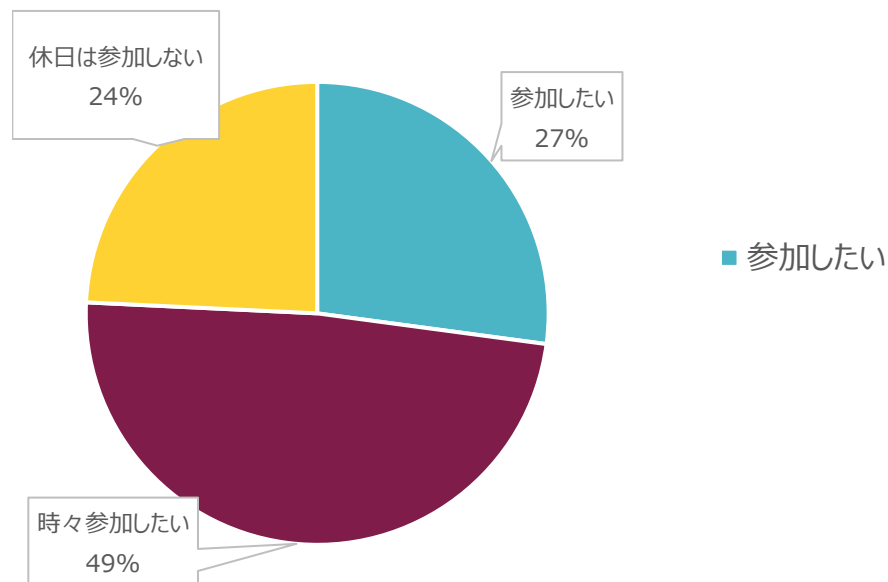
## 基本情報

人口	33,200人	部活動数	46部活
公立中学校数	3校	市区町村の協議会・ 検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	801人	市区町村の推進計画・ ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### ▼山梨市の現状・課題

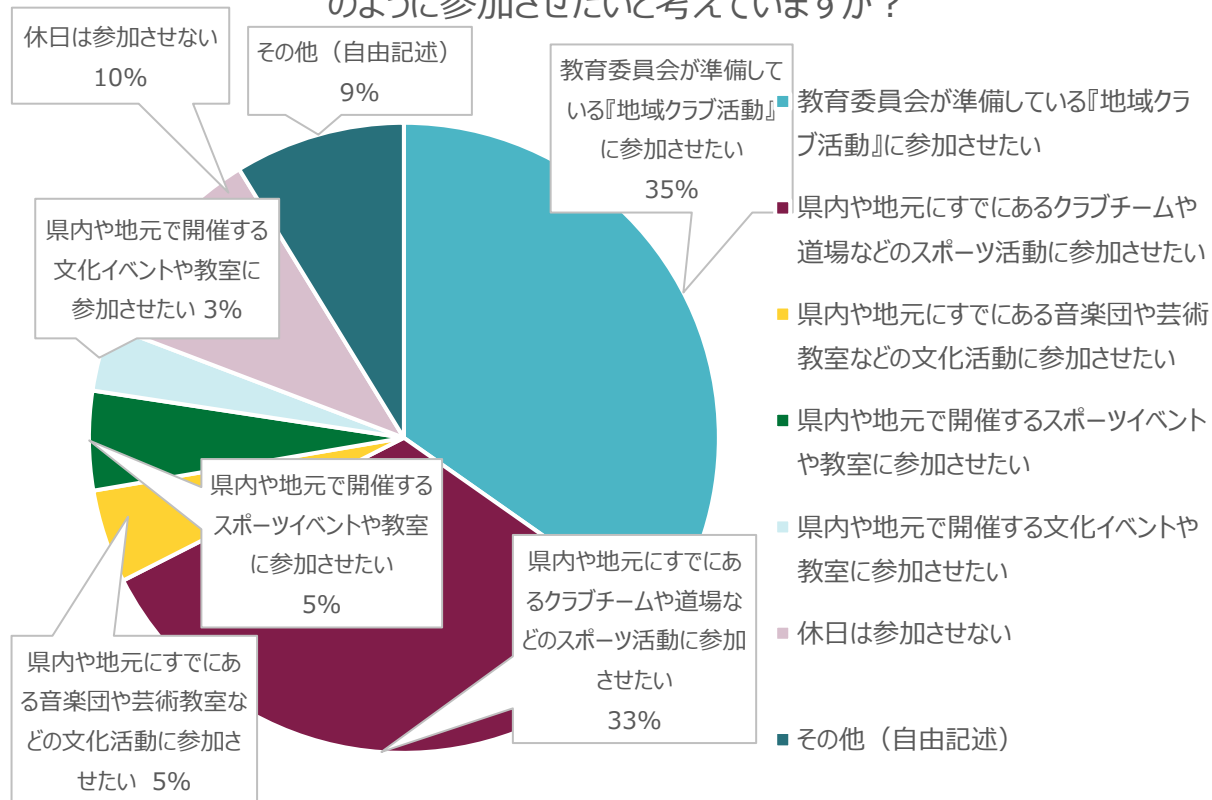
Q5.あなたは、休日の部活動の地域移行後、休日のスポーツや文化活動に参加したいですか？



### 【アンケートから見る現状・課題】

- ・山梨県が実施した児童へのアンケートから、山梨市の現状として、休日の部活動への参加を希望している生徒が27%、時々参加したいが49%、参加しないは24%だった。
- ・参加しない理由として多かったのが、「習い事で忙しい」である。
- ・地域移行が進む中で、中学校に進学する児童については、部活動の意義等を説明していく場が必要である。

## Q6 あなたは、休日の部活動の地域移行後、お子さまには休日どのように参加させたいと考えていますか？



### 【保護者アンケートから見る現状・課題】

- ・休日の部活動への参加活動について、地域クラブ活動が35%、県内や地元にあるクラブチームが33%、休日は参加させない10%、地元の文化活動が5%、地元のスポーツイベント5%、地元の文化イベント3%、その他9%だった。
- ・休日は参加させないが10%であり、ほとんどの保護者が休日は、部活動に限らず、何かの活動に参加させたいと考えている。
- ・市として、保護者の意向を踏まえ活動の場を提供できるよう今後、体制を構築していく。

### ▼山梨市の実践活動状況

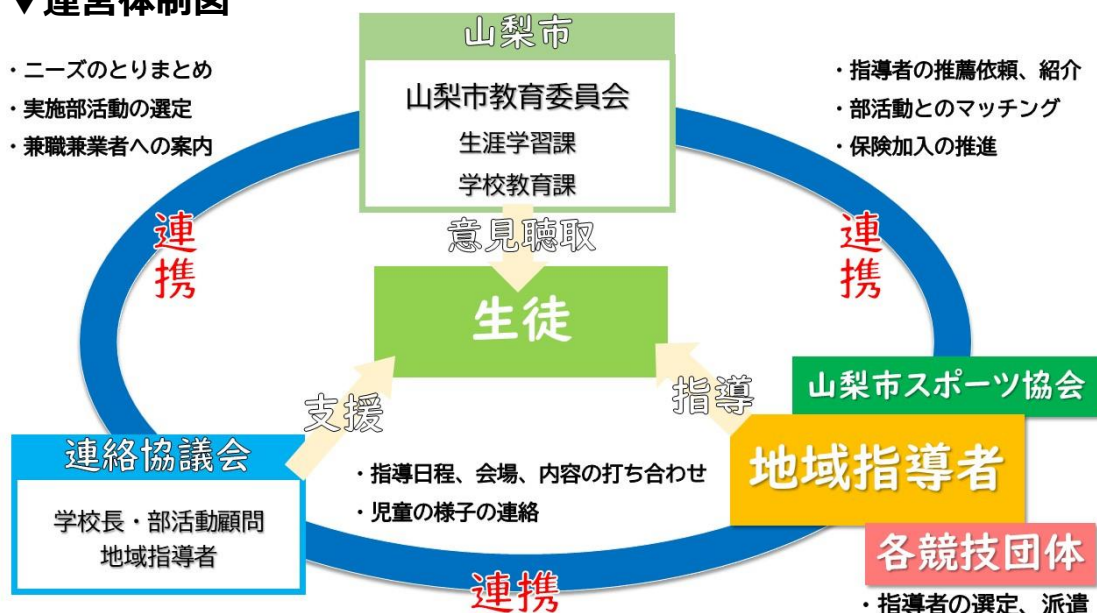
- ・山梨市内にある3中学校の内、山梨南中学校をモデル校として、地域連携として地域指導者若しくは、地域スポーツクラブ から指導者を派遣し、休日部活動の指導を行った。競技種目については、野球・サッカー・剣道・男子卓球・女子卓球・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス、ラグビー（季節部）。
- ・指導方法は、部活毎に、その部活動に合った方法を模索した。
- ・野球については、平日部活動の顧問をしている教職員が経験者であり、熱意をもって休日も熱意をもって指導を行いたいという要望があったため、兼職兼業による指導を依頼した。また、野球については、山梨南中学校と山梨北中学校の2校で合同練習として活動を行った。
- ・サッカー・剣道・卓球については、既にあった地域スポーツクラブに指導を依頼。
- ・ソフトテニスについては、市スポーツ協会ソフトテニス連盟から推薦してもらい、男子は地域指導者（個人）に、女子は地域スポーツクラブに指導を依頼した。
- ・ラグビーについても、市スポーツ協会ラグビーフットボール協会から推薦をもらい、地域指導者（個人）に指導を依頼した。

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図

- ・ニーズのとりまとめ
- ・実施部活動の選定
- ・兼職兼業者への案内



#### ▼行政組織内での役割分担

##### ●教育委員会（生涯学習課・学校教育課）

- ・生涯学習課が計画、運営体制の構築、指導者の選定等を行った。
- ・学校教育課にコーディネーターを配置し、学校との協議及び、生涯学習課で選定した指導者と学校長及び部活動指導顧問との連絡調整を行った。

### 年間の事業スケジュール

～R5年5月	地域移行に係る共通理解、事務局について
R5年6月	部活動地域移行ブロック会議（市内中学校長・教員、地域指導者）
R5年7～9月	市内中学校長、部活動顧問、競技指導者との打ち合わせ・意見聴取
R5年10月	部活動地域移行先進地への視察（会津若松市）
R5年11月	部活動地域移行についての教員研修会
R5年12月	部活動地域移行に係る要綱の策定、部活動連絡協議会の設置（第1・2回会議）
R6年1月～	部活動連絡協議会（第3回会議） 外部指導者による休日部活動の指導開始



## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

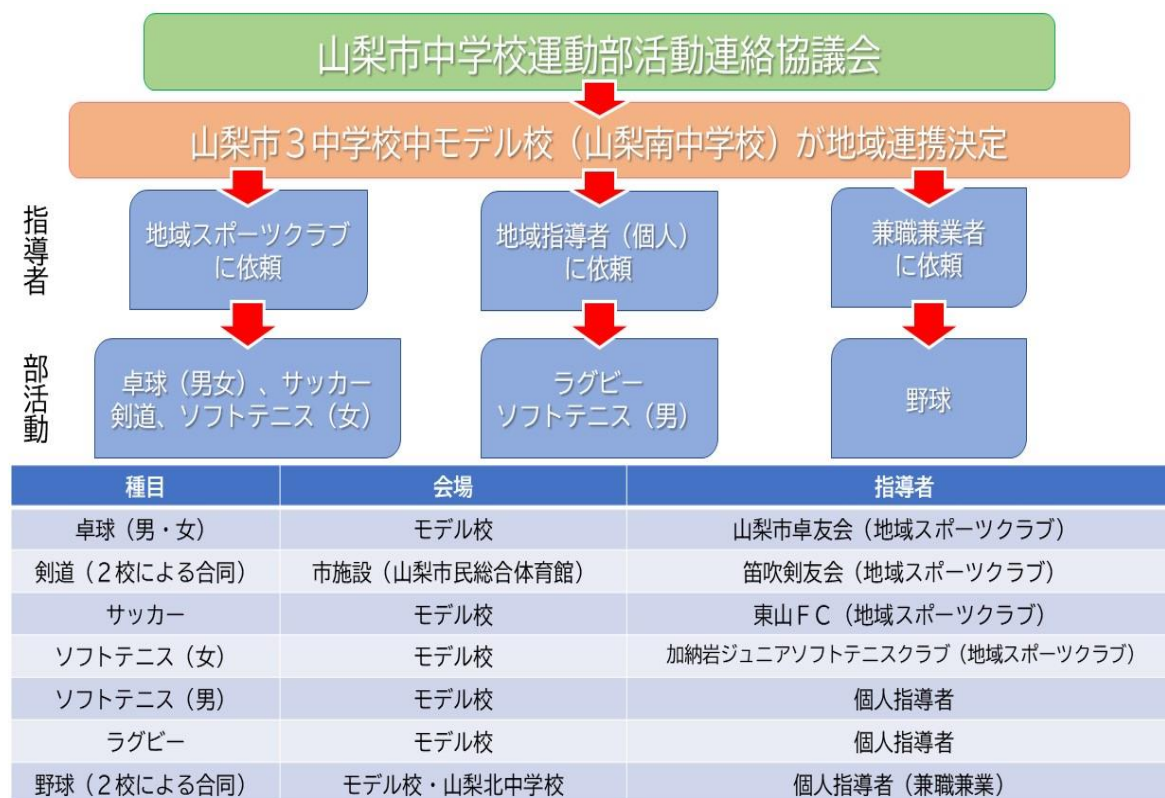
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	野球、サッカー、剣道、男子卓球、女子卓球、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、ラグビー
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	8部活		

### 主な取組例

#### ▼活動概要

拠点校名	山梨南中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	8部活
地域クラブ活動で実施した種目	剣道、サッカー、野球、卓球（男女）、ソフトテニス（男女）、ラグビー
運営主体名	山梨市教育委員会
運営類型	その他（その他の類型）
1か月あたりの平均的な活動回数	週末1回は実施
指導者の主な属性	地域スポーツ団体
活動場所	拠点校（野球は合同練習で行っているため、指導者の協議で定める、剣道は市施設）
主な移動手段	徒歩又は自転車

#### ▼運営体制図



## 2. 実証内容と成果

### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

・学校長、地域指導者等と連絡調整を行い地域連携の道筋が見えてきた段階で、山梨市中学校部活動連絡協議会を設立し、指導の方向性や、今年度の地域連携の部活動等を定める。

#### 取組の成果

・モデル校を定めることができ、野球、サッカー、剣道、卓球（男女）、ソフトテニス（男女）、ラグビーを地域連携することができた。

・野球は、モデル校ともう1校の合同練習で、指導者は兼職兼業者

・サッカー、卓球（男女）、ソフトテニス（女子）は、地域スポーツクラブに指導を依頼。

・剣道は、モデル校ともう1校の合同練習で、地域スポーツクラブに指導を依頼。

・ソフトテニス（男子）、ラグビーは、地域指導者個人に指導を依頼。

#### 特に工夫した事項

・連絡協議会を設立する前に学校長、部活動顧問、地域指導者と協議を重ねた中で、協議会を開催したので、委員の理解度が高かった。

#### 今後の課題と対応方針

・現在はモデル校を中心に活動を行っているが、今後は、市内にもう2校ある中学校にも合同練習だけではなく地域移行を進めていかなければならない。

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（活動写真）



【状態の捻り体重移動を指導している様子（ソフトテニス）】



【撃ち込みの仕方を指導している様子（卓球）】



【指導者が自ら見本を見せ、できるか確認している様子（卓球）】



【指導者に面を入れる様子（剣道）】



## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

令和6年



●ステークホルダー  
学校長、部活動顧問

●経過  
事業の実施にあたって、市内中学校長と協議を重ね、最適な形の検討を行った。

●課題  
市内3中学校のうち、2校は比較的都市部に位置するが、1校がへき地のため、足並みを揃えた実施が困難である。

●実施内容、工夫した点 等  
地域移行に前向きであった都市部に位置する1校をモデル校とすることにより、リソースの集中が可能となって地域連携の導入がスムーズに行えた。

●ステークホルダー  
部活動顧問

●経過  
部活動顧問に事業の説明を行った際に、現行の教職員が指導する形ではなくなることに抵抗を示す先生がいた。

●課題  
教職員が部活動の指導を行うという慣例が常識化している。

●実施内容、工夫した点 等  
実践活動を行うことにより部活動のあり方を改めて考える機会を作ることができた。

●ステークホルダー  
部活動顧問、地域指導者

●経過  
部活動顧問、地域指導者にモデル校以外の学校や今年度実践していない指導者にも話を聞き考えや意見を吸い上げることができた。

●実施内容、工夫した点 等  
地域スポーツクラブ、地域指導者、教職員（兼職兼業）と型にはめることなく実践できる指導者に依頼した。

●ステークホルダー  
生徒、部活動顧問、地域指導者

●経過  
部活動の地域移行を連携から完全意向へと進めていく。

●課題  
地域連携を行う中で、地域指導者の指導に抵抗感を示す生徒、部活動顧問がいた。  
地域指導者と児童の間に活動に対する熱量の差がある。

●実施内容、工夫した点 等  
指導内容を見る限り問題のない指導を行っているので部活動顧問に関しては地域移行の意義や今後のあり方について話し合いを行っていき、生徒には更に理解が深まるように話し合いの場を設けていく。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	R8 以降～
<p>山梨市 教育委員会 (生涯学習課・学校教育課)</p>	<p>山梨市内にある3中学校の内、1校をモデル校として、6競技8種目を地域指導者が指導</p>	<p>市内3中学校の運動部活動の地域クラブ活動への移行を促進させる。</p>		<p>休日の運動部活動を地域クラブ活動へ</p>
	<p>実践競技：野球（2校合同練習）、サッカー、剣道（2校合同練習）、卓球（男子・女子）、ソフトテニス（男子・女子）、ラグビー</p>	<p>その他の競技種目を地域クラブ活動へ</p>		
<p>山梨市 中学校運動部活動 連絡協議会</p>	<p>地域連携を行う部活動競技等を協議</p>	<p>全部活動の休日の活動を、地域クラブ活動へ移行する際の、保護者負担及び学校としての部活動のあり方を検討</p>		